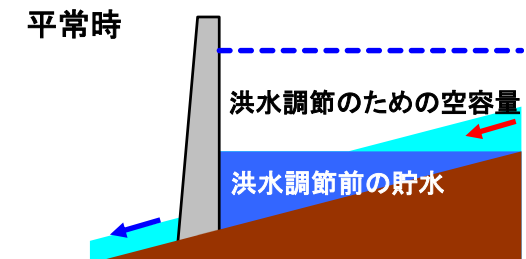


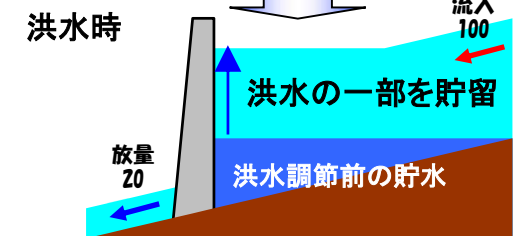
## 旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

**ダムの洪水調節機能(イメージ)**

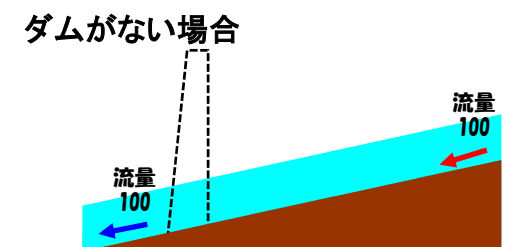
平常時



洪水時



### ダムがない場合



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

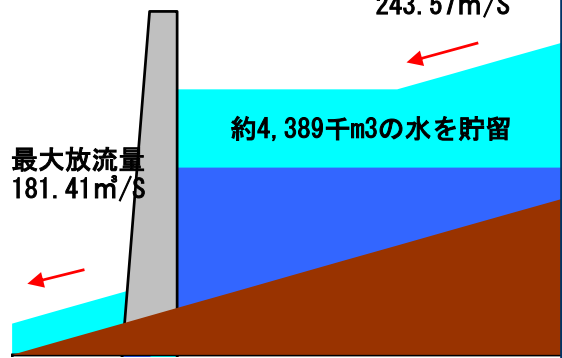
このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は1/5になり、洪水被害を軽減します。

旭川ダム 出水前・後の貯水状況 最大流入量

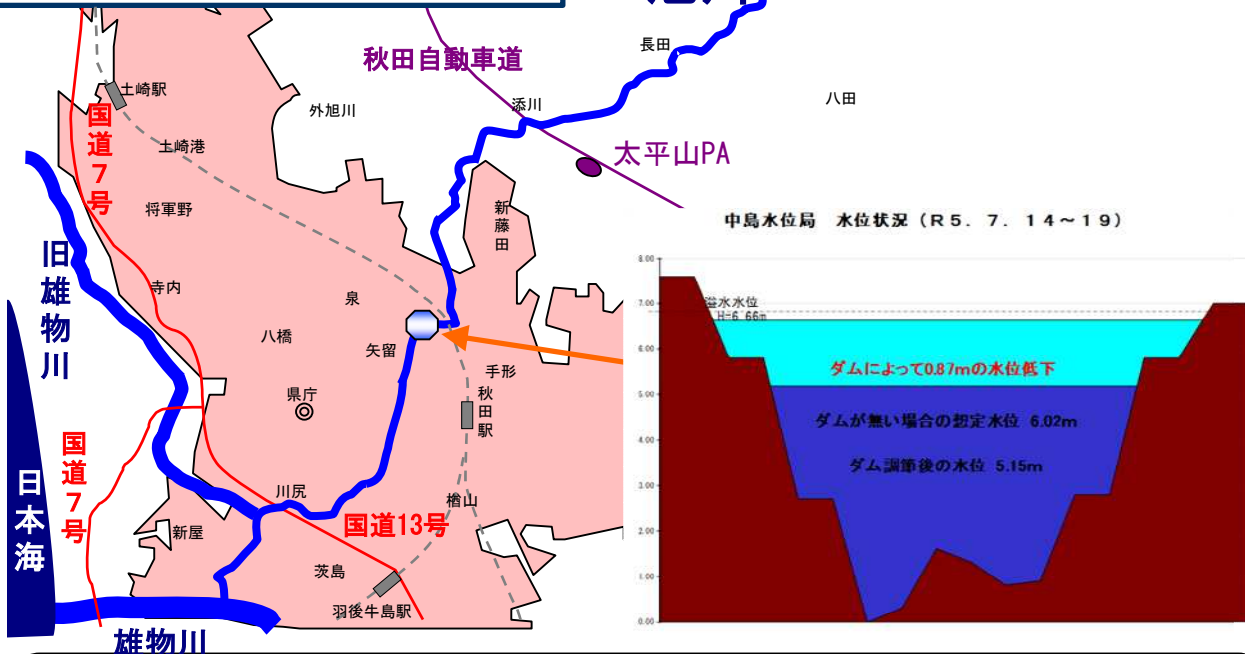
旭川ダム 出水前・後の貯水状況

|       |            |
|-------|------------|
| 最大放流量 | 181.41m³/s |
|-------|------------|

約4,389千m<sup>3</sup>の水を貯留



旭川



旭川ダムでは、7月14～19日の「梅雨前線による出水」のため、洪水調節を行いました。

約4,389千m<sup>3</sup>の洪水をダムに貯留し、ダム下流の旭川に流れる水量を少なくしました。

また、今回の大雨は、ダムに貯留できる限界を超える出水となったことから、7月15日17時22分から7月16日10時02分の期間において、ダムへの流入量と同じ量を放流する緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施しました。

# 旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

## 概況

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

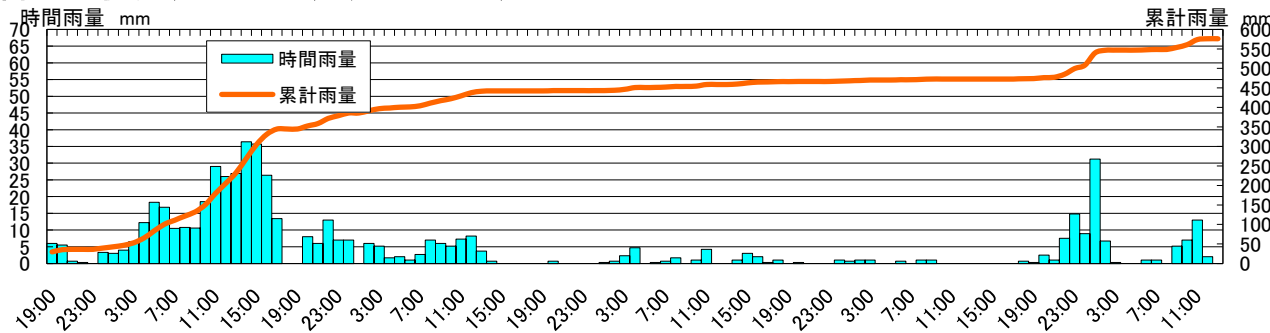
旭川ダムでは7月14～19日の「梅雨前線による出水」のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、流域平均の最大時間雨量36.4mm、累計雨量は576.2mmとなり、旭川ダムにおける最大流入量は243.57m<sup>3</sup>/sまで上昇しました。

洪水調節の結果、約4,389千m<sup>3</sup>の水をダムに貯留し、旭川の水位を87cm下げることができました。

また、今回の大雨は、ダムに貯留できる限界を超える出水となったことから、7月15日17時22分から7月16日10時02分の期間において、ダムへの流入量と同じ量を放流する緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施しました。

## 降雨の状況（旭川ダム流域平均雨量）



## 旭川ダム諸元

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 河川名      | 雄物川水系 旭川              |
| 型式       | 重力式コンクリートダム           |
| 堤高       | 51.5m                 |
| 堤長       | 380.0m                |
| 堤体積      | 125,000m <sup>3</sup> |
| 集水面積     | 34.4km <sup>2</sup>   |
| 湛水面積     | 0.35km <sup>2</sup>   |
| 有効貯水量    | 4,200千m <sup>3</sup>  |
| サーチャージ水位 | EL. 144.50m           |
| 洪水流量     | 40m <sup>3</sup> /s   |
| 竣工年度     | 昭和47年                 |

## 旭川ダム 洪水調節の状況

